

組織目標管理シート(平成22年度)

部名	子ども・教育部	部組織目標	共に育ち共に育む「共育」の理念のもと、子どもたちが健やかに育ち学び、親も安心とゆとりをもって子育てを楽しむことのできる地域社会づくりをめざします。
-----------	---------	--------------	---

※ 区分 1: 区民サービスの向上のために 2: 適正な財政運営のために 3: 仕事の進め方の改善のために 4: 職員力・組織力向上のために

組織目標達成のための主要な事務事業(事項)名	区分	平成22年度の取り組み(事務事業(事項)別の目標)	平成22年度の実績(事務事業(事項)別の目標達成状況)
1 千代田子育てサポート	1	家族・子育て支援者の養成を図るとともに、訪問型一時預かり保育利用者の登録者を増やすことで、地域の育児力を向上させ、安心して子育てができる環境を整備します。また、家庭的保育事業の導入を見据えた人材育成に取り組みます。	<p>達成 ○一部達成 未達成(検討中)</p> <p>○3級支援者養成講座 5/10~7/12で実施、受講者14名(認定支援者累計60人)</p> <p>○2級支援者養成講座 10/4~12/10で実施、受講者6名(認定支援者累計20人)</p> <p>○支援者へのバックアップ研修は随時実施 年間 11回開催</p> <p>○カリキュラムに「家庭的保育事業」に対応する講座を一部導入</p> <p>○支援者の活動を奨励するための懇談会は震災のため中止</p> <p>○支援者の活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3級認定者(区事業開催時の託児サービス、児童館等の一時預かり保育補助等) <ul style="list-style-type: none"> 支援件数 97件(前年度55件) 活動時間 7,778時間(前年度8,548時間) ・2級認定者(訪問型一時預かりの一時保育、送迎、宿泊等) <ul style="list-style-type: none"> 支援件数 917件(前年度483件) 活動時間 2,633時間(前年度1,533時間)
2 保育園待機児童対策	1	平成22年4月に9年ぶりに発生した年度当初からの待機児童の早期解消と、平成23年度以降の待機児童ゼロをめざし、保育施設の計画的誘致と、定員弾力化実施のための保育園等運営体制の強化を図ります。	<p>達成 ○一部達成 未達成(検討中)</p> <p>○アスク二番町保育園の平成23年4月開設準備とともに、区立保育所10月入所分で定員の再弾力化(0、1歳児各1名)等を行いました。就学前人口の増加等の要因から、年度末での待機児童ゼロの実現は達成できませんでした。今後も新規開設園による定員拡充と区立園の定員の弾力化継続により、待機児童数を継続して低減させていきます。</p>
3 学童クラブ待機児童ゼロ対策	1	大規模学童クラブの規模の適正化を図るとともに、定員を拡充し、あわせてスポット保育事業の実施により学童クラブ待機児童のゼロを実現していきます。	<p>○達成 一部達成 未達成(検討中)</p> <p>○今年度当初に実施した学童クラブの分割と、定員の弾力化及びスポット保育事業により、現在、550名定員のところ、590名弱の児童を受け入れました。その結果、依然、待機児童は出ていません。</p> <p>○時間延長や保育園との一体的な保育を実現するため、二番町こどもクラブを開設しました。1月8日に麹町地域全般、1月25日に四番町保育園、2月3日に麹町保育園において説明会を開催し、平成23年5月1日現在では19名の児童を受け入れています。</p> <p>○官民合同館長会で学童クラブ入所手続基準の適正化を検討し、区内外の優先枠を設けるなど入所基準指数表を改定しました。</p>
4 発達支援・特別支援教育の推進(個に応じた指導の充実)	1 4	千代田区発達支援・特別支援教育推進協議会報告を踏まえ、就学前の早期からの発達相談や児童・家庭支援センターにおける療育プログラムを実施するほか、就学相談の充実を図ります。心理・医療等の専門家を巡回相談員として各学校・幼稚園・保育園・こども園に派遣し、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒への適切な指導・支援方法について助言を行うとともに、保護者からの相談にも応じます。また、児童・生徒、学校等の状況により学習や学校生活のための支援員を配置します。さらに、神田一橋中学校に通級指導学級(情緒障害等)を設置し、中学校における支援体制を充実します。また、九段中等教育学校における発達障害支援の充実に向けた準備を進めます。	<p>○達成 一部達成 未達成(検討中)</p> <p>○5歳児健診時にセンター療育の心理職2名が参加。平成22年10月と12月と平成23年2月に3回実施し、スクリーニング後の早期支援として療育につながった児童が9名中2名。</p> <p>○全保育園・幼稚園・小学校・中学校・中等教育学校へ、計13名の巡回相談員を派遣し、支援方法について教職員や保護者に指導・助言しました。</p> <p>○特別支援教育指導員と学習・生活支援員を幼・小・中へ計46名配置し、個別支援を行いました。また、全配置園・校において「支援検討会議報告書」を年間3回以上実施し、関係者間において支援の成果と課題を検討し、一層の支援充実につなげました。</p> <p>○平成22年4月に神田一橋中学校通級指導学級(情緒障害等)を開設し、校内研修会実施と学校訪問を行い、指導の工夫・改善を図りました。また、九段中等教育学校について、外部専門家の協力を得て発達支援についての調査研究と検討会を実施しました。</p> <p>○「千代田区発達支援・特別支援教育推進協議会報告」(平成21年3月)に提案された取組みについて、関係部署間における進捗よく状況の確認を年間3回にわたり実施し、提案事項の実施を推進するとともに、次年度予算計上を行いました。</p>
5 きめ細かな学習指導体制の推進	1 4	全小学校における教科担任制の導入、在来中学校における少人数指導の実施など、都基準よりも手厚い人的措置により、児童・生徒の学力向上を図ります。また、小学校・中学校・中等教育学校において、区独自の達成度調査を小学校4年以上すべての学年において実施し、その結果分析により、指導改善プランを策定し授業改善につなげます。	<p>○達成 一部達成 未達成(検討中)</p> <p>○全小学校と在来中学校に区費非常勤講師を計40名配置し、小学校において教科担任制を、在来中学校において少人数指導を実施し、その成果を年間2回にわたり学校から提出してもらいました。</p> <p>○全小学校・中学校・中等教育学校の小学校4年生以上のすべての学年を対象に達成度調査を実施し、その結果を分析したうえで全校が9月に指導改善プランを策定しました。</p>
6 新しい学習指導要領への対応	1 4	全小学校への理科支援員派遣や英語活動コーディネーター派遣などを通し、理数教育、外国語活動、国語力向上など新学習指導要領完全実施への的確な対応を進めます。	<p>○達成 一部達成 未達成(検討中)</p> <p>○全小学校へ15名の理科支援員を配置するとともに英語活動コーディネーターを派遣し、理数教育と外国語活動の充実を図りました。</p> <p>○推薦委員(教員)による読書活動についての教育課題調査研究部会を組織し、3月にモデルプランを集めたリーフレットを作成、全教員に配布し、読書活動推進と子どもの国語力向上を図りました。</p>
7 健康・体力向上・食育の推進	1 4	食育・健康教育・医学などの専門家を学校に派遣し、個に応じた適度な運動と休養、適切な栄養摂取などの理解を深めさせ、知・徳・体のバランスがとれた児童・生徒を育成します。また、親子を対象とした食育出前講座などを行い健康教育や食育を一層推進します。さらに、安全・安心な学校(園)給食を提供するために、委託内容の評価、備品整備を計画的に行います。	<p>○達成 一部達成 未達成(検討中)</p> <p>○学校(園)給食委託内容について、給食委託評価委員会を設置し、毎月改善に努めています。備品については備品リストを作成し、今後も計画的な整備を継続していきます。</p> <p>○健康教育・医学・運動の専門家を学校に派遣し実技を通し体力・運動能力向上を図る取組みを、全園・校において33のプログラムを実施しました。また、親子を対象とした食育出前講座を、8園・校において45のプログラムを実施しました。</p>

※ 区分 1: 区民サービスの向上のために 2: 適正な財政運営のために 3: 仕事の進め方の改善のために 4: 職員力・組織力向上のために

組織目標達成のための主要な事務事業(事項)名	区分※	平成22年度の取り組み(事務事業(事項)別の目標)	平成22年度の実績(事務事業(事項)別の目標達成状況)
8 自然体験・社会体験の充実と心の教育の推進	1 4	各学校に心の教育コーディネーターを派遣し、道徳教育の一層の充実を図るとともに、宿泊行事による自然体験や高齢者施設における社会・福祉体験など、豊かな体験活動を推進し、家庭・学校・地域が一体となり心の教育を推進します。 また、子どもが保護者とともに情報モラルなどを学び、豊かな心を育てる機会を充実します。 さらに、生徒等に自己理解・他者理解やストレスコントロールなどコミュニケーション能力を高めるためのフレンドシップ・サポートなどを実施し、いじめの防止や不登校の減少をめざします。	○達成 一部達成 未達成(検討中) ○全小学校・中学校・中等教育学校に心の教育コーディネーターを派遣し、道徳教育の一層の充実を図るとともに、コーディネーター等を活用した「道徳授業地区公開講座」を全校において計11回実施しました。 ○小学校4年生以上のすべての学年を対象とした宿泊行事による自然体験・伝統文化体験や、中学校・中等教育学校2学年生徒全員が参加した高齢者施設における社会・福祉体験を実施しました。 ○子どもと保護者がともに情報モラルなどを学ぶ「親子で学ぶ情報モラル教室」を全校において計31回実施しました。 ○児童・生徒に自己理解・他者理解やストレスコントロールなどコミュニケーション能力を高めるため、新規事業フレンドシップ・サポートを小学校4校と全中学校・中等教育学校において実施しました。
9 保育園舎の整備	1	麴町保育園、神田保育園の新園舎整備に継続して取り組みます。 麴町保育園については、平成22年度は新園舎等の整備や運営体制等の検討を進め、区と近隣住民や保護者等で施設建設についての協議を行うとともに、従来使用していた園舎の解体を進めます。 また、神田保育園については、平成24年度の供用開始をめざし、淡路町二丁目西部地区第一種市街地再開発事業地区内に、新園舎整備を進めていきます。	達成 ○一部達成 未達成(検討中) ○麴町保育園: 保育供給量の増強、待機児童の解消を図るため、これまでの「旧園舎跡地(おひさま広場を含む)には、民間事業者による民設民営園舎を建設し、その後は仮園舎を廃止する」という区の方針を変更しました。新しい方針は、「麴町保育園は仮園舎に区立園として存続させ、旧園舎跡地(おひさま広場を含む)には、建物は区が責任を持って直接建設し、運営は民間事業者が行う、新たな認可保育園を整備する」というものです。そのため、11月以降保護者説明会や近隣住民への個別説明を実施しました。また、保護者の要望を踏まえ、屋上園庭の整備等を行いました。しかし、一部の保護者には「新施設完成後は、今の形で戻して欲しい」との意見をお持ちの方もいるので、継続して説明していきます。 ○神田保育園: 詳細設計が完了し、ほぼ予定通り進捗しています。
10 富士見みらい館の運営	1 2	小学校・子ども園・わんぱくひろば(児童健全育成機能)などを一体化した、本施設の効率的な運営体制推進に取り組みます。	○達成 一部達成 未達成(検討中) ○定例的に運営協議会を開催し、協議・情報の共有化を行っています。 ○四半期ごとに、日常・定期モニタリングを業務ごとに行いました。 ○これらは、今後とも継続していきます。
11 麴町中学校及び九段中等教育学校の整備	1	麴町中学校は、平成24年度の供用開始をめざし、改修整備に継続して取り組みます。平成22年度は、実施設計に基づき改築工事を進めます。 九段中等教育学校は、円滑な学校運営のための施設改修に、継続して取り組みます。平成22年度は、九段校舎のグラウンドに仮校舎を設置し、平成23年5月の竣工をめざし、九段校舎の改修工事に取り組みます。	○達成 一部達成 未達成(検討中) ○麴町中学校: 平成24年1月校舎棟竣工に向け、予定通り進捗しています。 ○九段中等教育学校: 九段校舎の改修工事は、平成23年5月末竣工に向け、予定通り進捗しています。
12 既存施設の維持管理及び温暖化対策	1 2	施設の安全・安心と良好な共有環境の実現を両立させるとともに、ランニングコストの低減に取り組みます。また、施設の更新時のみならず、既存施設の大規模改修等に当たっては、CO2の削減等地球温暖化対策に取り組みます。平成22年度は、省エネルギー診断に基づくソフト対策を実践するとともに、施設の設備工事に伴い、設備の高効率化を進めます。	○達成 一部達成 未達成(検討中) ○和泉小、いずみ子ども園の真空式温水ヒーター整備、昌平小の冷温水発生機部品交換等の作業を完了しました。 ○学校の維持補修工事などの際には、温暖化対策の視点を持って継続的に取り組んでいきます。
13 教育委員会所管施設の整備計画の検討	1	学校施設や児童福祉施設についての改修計画を策定し、計画的な建替え、大規模改修を実施します。 平成22年度は、整備手法、改修整備のプライオリティなどについて、内部検討を進めます。	○達成 一部達成 未達成(検討中) ○改定基本計画で整備が予定されている九段小学校・幼稚園、お茶の水小学校・幼稚園、神田一橋中学校について検討を進め、九段小学校・幼稚園と神田一橋中学校については整備計画の基礎調査を実施し、お茶の水小学校・幼稚園については、周辺まちづくりの状況を踏まえ別途検討することとしました。
14 教育委員会活動の活性化	1 3 4	ホームページ、広報紙などによる情報発信を積極的に行い、教育委員会の開会日程事前告知による傍聴案内及び会議録のホームページ公開により、教育委員会活動を区民により身近なものにしていきます。また、教育委員が自ら学校や園等に出向き、現地で教育委員会を開催することにより、現状の視察や児童・生徒、教職員、保護者等との交流を行い、地域住民の意向を把握していきます。また、「特色ある教育活動」における各校実施計画の審査に参加し、外部活力を生かした特色ある学校づくりに積極的にかかわります。	○達成 一部達成 未達成(検討中) ○ホームページ等による教育委員会の開会日程告知、会議録の公開を行いました。広報紙「かけはし」にて教育委員のメッセージの発信や会議内容の報告等も掲載し、教育委員会活動を区民により身近なものにしました。 ○移動教育委員会は、年間で4回実施し、現状の視察や児童・生徒、教職員、保護者等との交流を行い、地域住民の意向把握に努めました。岩井臨海学校と孺恋自然体験教室で児童の視察及び実施受け入れ団体との懇談なども実施しました。 ○教育委員が「特色ある教育活動」における各校実施計画の審査に参加し、外部活力を生かした特色ある学校づくりに積極的にかかわりました。
15 就学前教育のあり方検討	1 3 4	充実した就学前教育体制の構築に向け「幼児教育のあり方検討会」を設置し、幼児教育のあり方や1学級の適正な園児数などの検討に取り組みます。	○達成 一部達成 未達成(検討中) ○平成22年4月に幼児教育のあり方検討会を設置し、学識経験者による中間報告をまとめました。その後小学校・幼稚園・保育園の関係者及び保護者を交えた拡大検討を行い、平成22年8月末に最終報告をまとめました。この最終報告を踏まえ、平成22年11月中旬から12月初旬にかけて「区立幼稚園の学級編制基準(案)」についてのパブリックコメントを実施しました。
16 子ども手当の円滑な支給	1	6月の第1回支給に向けた準備を着実に進めるとともに、申請の遅れなどにより6月に支給できなかった保護者等への早期支給の体制を整えます。	○達成 一部達成 未達成(検討中) ○区在住の対象世帯のうち公務員世帯及び主たる生計維持者が区外在住の母子世帯を除くと100%近い支給を円滑に行いました。